

原子力リスク研究センター（NRRC） 第9回 技術会議 議事録

1. 日 時：2016年1月29日（金）10：00～12：00

2. 場 所：電力中央研究所 大手町本部 役員大会議室

3. 出席者（順不同、敬称略）

主査：横尾（NRRC）

委員：榎（北海道電力）、滝澤（東北電力、増子代理）、川村（東京電力）、
名倉・増田・仲村（中部電力、鈴木代理）、米原（北陸電力、高橋代理）、
森中・大石・浦田（関西電力、鈴木代理）、山本（中国電力、岩崎代理）、
川西（四国電力）、井上（九州電力、岡野代理）、石坂（日本原電）、
大柿（日本原燃）、藤本（電源開発、静岡代理）、河村（東芝、野田代理）、
今野（日立 GE）、河野（三菱重工）、倉田（原安進）、示野・座間・酒井・植田・江口（NRRC、金谷代理）

NRRC 幹部：尾本技術顧問

4. 議事概要（◆産業界委員、◇電中研委員）

(1) 研究トピックスについて

NRRC より、研究トピックスとして、活断層、断層変位、SSHAC (Senior Seismic Hazard Analysis Committee：地震ハザード解析専門家委員会)、フィルタベントをはじめとした研究の進捗状況の紹介を行った。

<活断層>

◆：活断層の解析については、電力会社の技術者が電中研の設備を利用して、解析に従事できるような体制があると良いと思う。

<断層変位>

◆：断層変位については、より早く結果が出せそうな課題がいくつかあるように思う。複数年にまたがる研究において、比較的早く結果が活用できるものと時間をかけて進める必要があるものがあれば、書き分けてほしい。

<フィルタベント>

◆：放射性ヨウ素の発熱は模擬できるのか

◇：ヒータ加熱による模擬等を検討している。

(2) NRRC の活動状況について

NRRC より、活動状況について報告を行った。